

幼児保育学科の学生と教

八戸学院大短期大学部

八学短大の学生ら

白浜海岸で 「砂浜彫刻」

八戸



完成した作品を前に笑顔を見せる幼児保育学科の学生

員約230人が6月28日、八戸市の白浜海岸で「砂浜彫刻」の制作を行った。仲間と協力し合いながら作り上げ、保育士に欠かせない協調性や創造性の大切さを学んだ。

保育士を目指す学生に

独創力、自然、人間関係などを学習できる砂遊びを体感し、指導に生かしてもらおうと毎年実施しており、今年で12回目。市制88周年を迎える今回は「祝」をテーマにした。

学生たちは、ゼミごとに14グループに分かれて作業。スコップや手で砂を寄せ集めながら海水を流し込んで固め、約3時間かけて完成させた。ハートをかたどった作品は、中央に結婚式の新郎新婦を配置。ハートの形が分かるように、貝殻をちりばめて縁取るなどきれいに仕上げた。このほか、ウエディングドレスや水引といった作品もあった。

2年の鶴飼梓さん(19)は「初めて1年生と共同で作ることができて楽しかった」と達成感に浸っていた。

(大澤諒)